

一人暮らしをしているが、高齢となり、頼れる親族もいないので、身元保証と死後事務サービスの利用を考えている。事業者と契約する場合は、どのようなことに気を付ければよいか教えてほしい。

(80 歳代 女性)

高齢者の単身世帯が増加するにつれ、身元保証や日常生活の支援、死後事務などに関するサービスである「身元保証等高齢者サポートサービス」が広まっています。

その一方で、「身元保証等高齢者サポートサービス」の契約をめぐる「高額な契約料を求められた」「内容がよくわからないまま契約してしまった」「解約時にお金が返金されない」などのトラブルについての相談が寄せられています。トラブルを未然に防ぎ、高齢の方が安心してサービスを利用するためのポイントについてご紹介します。

①事業者と契約する前に自分の希望をしっかりと伝える。サービスの内容や料金、解約時の返金の有無や条件などは、明確に記載されている資料や契約書でよく確認し、不明な点があった場合は事業者から十分な説明を受けましょう。

②契約内容がよくわからない場合は、契約を急がされてもその場では契約せず、周囲の信頼のできる人に相談しましょう。

③契約を考えている事業者について、信頼性の有無を見極めることが大切です。内容が適切なのか、契約が本当に必要なのかも含めて慎重に検討しましょう。また、お住まいの自治体が高齢者を支援するサービスを実施している場合がありますので、提供されているサービスの内容について調べてみましょう。

④万が一の時に備えて、親族や周囲の人、信頼できる近所の人に契約しているサービス内容や事業者の連絡先がわかるようにしておきましょう。

契約や解約で困った場合は一人で悩まずに、最寄りの消費生活相談窓口へご相談ください。